# **第261号** 平成23年5月6日



# (財)水道技術研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-8-1 虎ノ門電気ビル2 F

TEL 03-3597-0214, FAX 03-3597-0215

E-mail jwrchot@jwrc-net.or.jp
URL http://www.jwrc-net.or.jp

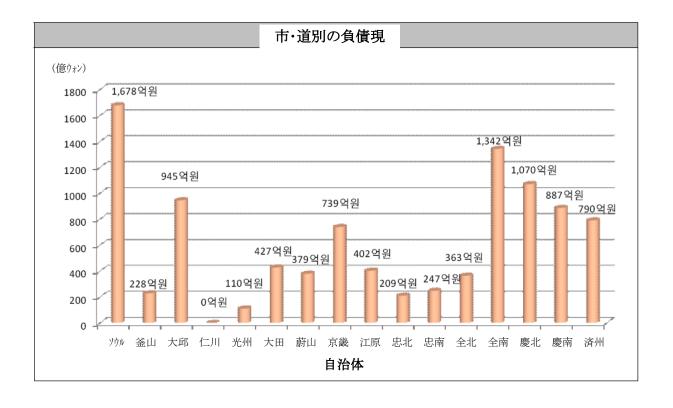
# 大韓民国「2009 年上水道統計 (概要)」について (その2)

#### 3. 財政現況

2009 年度の総歳入額は 6 兆 5,166 億ウォンで、このうち資本収入(水道料金,過年度繰越金、施設負担金、受託工事費等)が 5 兆 6,607 億ウォン、補助収入(道補助金、交付金、一般会計補助金等)が 7,130 億ウォン、起債収入(財政融資、公債、借款、借入金等)が 1,428 億ウォンである。また、2009年末現在、負債額は 9,816 億ウォンで、前年度 1 兆 253 億ウォンに比べ 1,437 億ウォンの減少となっている。

	年度別上水道歳入現況												
	区 分	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	
歳	入額(億ウォン)	41, 615	43, 278	47, 542	48, 755	51, 405	53, 718	53, 672	54, 798	57, 736	61, 481	65, 166	
資本	本収入(億ウォン)	33, 596	35, 414	38, 937	40, 776	43, 680	46, 185	46, 766	48, 399	51, 135	52, 974	56, 607	
補具	助収入(億ウォン)	3, 892	4, 131	5, 305	5, 206	5, 467	5, 359	5, 113	5, 439	5, 714	7, 496	7, 130	
起	責収入(億ウォン)	4, 127	3, 733	3, 300	2, 773	2, 258	2, 174	1,056	961	886	1,010	1, 428	
負債	金額(億ウォン)	40, 217	42, 893	39, 685	36, 730	27, 057	22, 231	19,017	15, 139	13, 272	11, 253	9, 816	
額	増加率(%)	6. 0	0.6	△7.5	△7.0	△26. 3	△17.8	△14. 4	△20. 4	△12.3	△15. 2	△12.8	

※備考:増加率は前年対比で、△は減少を意味する。



また、2009 年度の総歳出額は6兆5,166億ウォンで、このうち工事費(拡張、改良等)が2兆2,260億ウォン、維持管理費(動力費、人件費、薬品費、修繕維持費、原・浄水購入費等)が2兆5,389億ウォン、元利金償還額(利子、元金)が3,196億ウォン、その他繰越金が1兆4,321億ウォンである。

	年度別上水道歳出の推移												
区 分	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009		
歳出額(億ウォン)	41,615	43, 278	47, 542	48, 755	51, 405	53, 718	53, 672	54, 798	57, 736	61, 481	65, 166		
工事費(億ウォン)	13, 647	13, 675	15, 329	13, 824	13,606	15, 631	16, 133	13, 705	14, 861	17, 937	22, 260		
維持管理費(億ウォン)	12, 323	13, 206	14, 774	16, 272	18, 634	20,770	22, 299	21, 649	22, 803	23, 413	25, 389		
元利金償還額(億ウォン)	5, 062	5, 702	6, 431	7, 292	6, 157	5, 992	4, 507	4,847	3, 796	3, 504	3, 196		
その他(繰越金)	10, 583	10, 695	11,008	11, 368	13,008	11, 325	10,732	14, 597	16, 277	16, 627	14, 321		

#### 4. 取水及び浄水施設

2009 年末現在、上水道施設の 1 日当たり合計取水施設能力は 37,521 千  $\mathrm{m}^3$ であり、取水源別では河川表流水が 18,017 千  $\mathrm{m}^3$ (48.0%)、ダム 16,535 千  $\mathrm{m}^3$ (44.1%)、河川伏流水 2,005 千  $\mathrm{m}^3$ (5.3%)、地下水 604 千  $\mathrm{m}^3$ (1.6%)、その他貯水池 361 千  $\mathrm{m}^3$ (1.0%)である。

	取水源別施設能力千 m³)										
取水源 区分	河川表流水	河川伏流水	ダム	その他 貯水池	地下水	計					
総計	18, 071 (48. 0%)	2, 005 (5. 3%)	16, 535 (44. 1%)	361 (1. 0%)	604 (1.6%)	37, 521 (100%)					
地方上水道	13, 537 (68. 2%)	2, 005 (10. 1%)	3, 333 (16. 8%)	361 (1. 8%)	604 (3. 0%)	19, 839 (100%)					
広域上水道	4, 481 (25. 3%)	_	13, 202 (74. 7%)	1	_	17, 682 (100%)					

※備考:取水源別の施設能力には、工業用取水施設も含まれている。

浄水場の全体施設能力は 31,416 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (工業用水を含む。) であり、このうち、急速ろ過方式の施設能力は 22,678 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (72.2%)、高度浄水処理施設を備えている浄水場の施設能力は 5,558 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (17.7%) であり、緩速ろ過方式の施設能力は 675 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (2.1%)、消毒のみの施設能力は 371 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (1.4%)、膜ろ過方式の施設能力は 39 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (0.1%)、その他方式で処理する浄水場施設能力は 2,097 千  $\mathrm{m}^3$ /日 (6.7%) である。

	净水処理方式別施設能力(千 m³/日)											
净水処理方式 区分	消毒のみ	緩速ろ 過方式	急速ろ 過方式	膜ろ過 方式	高度処 理方式	その他 方式	計					
総計	371 (1. 2%)	675 (2. 1%)	22, 678 (72. 2%)	39 (0. 1%)	5, 558 (17. 7%)	2, 097 (6. 7%)	31, 416 (100%)					
地方上水道	371 (1. 7%)	6675 (3. 0%)	15, 837 (71. 0%)	9 (0. 04%)	5, 060 (22. 7%)	369 (1. 7%)	22, 320 (100%)					
広域上水道		1	6, 841 (75. 2%)	30 (0. 3%)	498 (5. 5%)	1, 728 (19.0%)	9, 096 (100%)					

## 5. 給水量の分析

2009 年度 1 年間で生産・供給した水道水総量は 5,760 百万  $\mathrm{m}^3$ 、この中で漏水量等を除外した実有効水量は 5,099 百万  $\mathrm{m}^3$ であり、水道料金が賦課される量(有収水量)は 4,759 百万  $\mathrm{m}^3$ (有収率 82.6%)である。

	年度別上水道総給水量分析の推移												
区分	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009		
総給水量 (百万 m³)	5, 798	5, 812	5, 791	5, 696	5, 723	5, 909	6, 002	5, 749	5, 747	5, 804	5, 760		
有収水量 (百万 m³)	4, 258	4, 342	4, 367	4, 395	4, 489	4, 633	4, 761	4, 601	4, 659	4, 744	4, 759		
有収率 (%)	73. 4	74. 7	75. 4	77.2	78. 4	78. 4	79.3	80.0	81. 1	81. 7	82.6		
漏水量 (百万 m³)	934	859	804	700	781	839	845	819	734	709	658		
漏水率 (%)	16. 1	14.8	13.9	12.3	13. 6	14. 2	14. 1	14. 2	12.8	12. 2	11. 4		



		市・	道別総給ス	k量分析?	現況(千m	ı³/年)			
	A 1212		有効水	:量	無効水量				
区分	年間 総給水量	計	有収水量	有効無 収水量	有収率 (%)	計	調整減 額水量	漏水量	漏水率 (%)
全 国	5, 759, 867	5, 099, 391	4, 758, 904	340, 486	82. 6	660, 477	2, 738	657, 739	11. 4
ソウル特別市	1, 194, 291	1, 138, 161	1, 108, 382	29, 779	92. 8	56, 130	-	56, 130	4. 7
釜山広域市	377, 245	348, 898	333, 831	15, 067	88. 5	28, 346	_	28, 346	7. 5
大邱広城市	290, 736	260, 607	247, 013	13, 593	85. 0	30, 130	_	30, 130	10. 4
仁川広域市	341, 861	311, 920	296, 878	15, 042	86. 8	29, 941	12	29, 929	8.8
光州広域市	165, 857	143, 312	136, 585	6, 726	82. 4	22, 546	10	22, 536	13. 6
大田広域市	177, 457	159, 779	152, 048	7, 731	85. 7	17, 678	_	17, 678	10.0
蔚山広域市	117, 109	103, 654	100, 001	3, 654	85. 4	13, 454	4	13, 450	11. 5
京畿道	1, 279, 977	1, 180, 972	1, 118, 595	62, 376	87. 4	99, 005	404	98, 601	7. 7
江原道	211, 518	164, 494	139, 337	25, 157	65. 9	47, 024	482	46, 542	22. 0
忠清北道	173, 974	157, 441	142, 754	13, 688	82. 6	16, 533	119	16, 414	9. 4
忠清南道	192, 620	161, 976	144, 672	17, 305	75. 1	30, 644	14	30, 629	15. 9
全羅北道	263, 408	208, 596	180, 617	27, 979	68. 6	54, 811	51	54, 760	20.8
全羅南道	181, 2658	139155	120, 577	18, 578	66. 5	42, 110	38	42,073	23. 2
慶尚北道	352, 529	271, 446	233, 819	37, 628	66. 3	81, 083	838	80, 245	22.8
慶尚南道	368, 481	288, 870	247, 925	40, 945	67. 3	79, 612	67	79, 544	21.6
済州道	71, 538	60, 109	54, 869	5, 240	76. 7	11, 429	699	10, 731	15. 0

※備考:1. 年間総給水量=有効水量+無効水量/有効水量=有収水量+有効無収水量/無効水量 =調整減額水量+漏水量

- 2. 有効水量:総給水量中、有効であると認められる水量、有収水量と有効無収水量の合計
- 3. 有収水量:有効水量中,料金を徴収できる水量、料金が賦課される水量で計量料金水量、 未計量料金水量、噴水量、その他賦課量の合計
- 4. 有効無収水量:使用上有効であるが、料金が賦課されない水量
- 5. 無効水量:使用上無効であると認められる水量
- 6. 漏水量:送水始点以降、給水使用者の計量器前までで発生した損失水量、すなわち水道管の事故、配水池の亀裂、配水池の越流等で損失した水量。

漏水量は合理的な算定が不可能で、他のすべての成分別水量が算定された後、総給水量から残る量を漏水量とする。

## 6. 水使用量の分析

用途別では、2009 年有収水量ベースで、家庭用が 3,040 百万  $\mathrm{m}^3$  (66.1%) で最も多く、営業用 926 百万  $\mathrm{m}^3$  (20.1%)、業務用 544 百万  $\mathrm{m}^3$  (11.8%)、銭湯用 92 百万  $\mathrm{m}^3$  (2.0%) の順であり、1 人当たり水使用量は 2660/日である。

	業種別水道水使用量の推移												
区	分	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009			
	計	4, 118	4, 146	4, 246	4, 357	4, 420	4, 483	4, 529	4, 687	4,602			
水道料金	家庭用	2, 693	2,708	2, 785	2,868	2,906	2, 939	2,970	2, 964	3, 040			
賦課量	業務用	599	612	643	666	731	612	572	631	544			
(百万 m³)	営業用	725	720	712	718	676	826	879	837	926			
	銭湯	101	106	106	106	107	106	107	97	92			
	1 人当たり水使用量 (Q/日)		264	267	270	272	271	269	265	266			

<sup>※</sup>水道料金の賦課量は、有収水量から工業用水及びその他用水の賦課量を除外。

2009 年における 1 人 1 日当たり給水量を自治体別に比較すると、江原道 (4410) が一番高く、全羅北道 (4300)、慶尚北道 (4270)、忠清南道 (3550) の順で、釜山広域市と蔚山広域市が各々2870、2940で最も低い。

O PENV o		市·道別	1人当た	り水道水	使用量の	推移(0/,	人/日)		
	給水量				有収水量				有効無収
区分		小計	家庭用	業務用	営業用	銭湯用	工業用	その他	量+無効 水量
全 国	332	274	176	32	54	5	6	1	58
ソウル特別市	307	284	190	23	63	8	_	_	22
釜山広域市	287	254	158	51	37	8	_		33
大邱広城市	317	269	176	_	88	5	_	_	48
仁川広域市	347	302	182	114	_	6	_	_	46
光州広域市	319	263	172	63	_	3	13	12	56
大田広城市	320	273	185	85	_	3	_	_	47
蔚山広域市	294	252	161	19	62	10	_	_	43
京畿道	314	273	182	19	61	4	4	3	40
江原道	441	290	182	45	57	2	4	_	151
忠清北道	361	299	177	5	60	1	55	1	63
忠清南道	355	266	164	5	91	2	1	3	89
全羅北道	430	295	164	39	37	3	50	2	135
全羅南道	348	232	147	15	65	3	2	_	117
慶尚北道	427	283	168	43	57	4	11	_	144
慶尚南道	351	235	153	13	61	3	5		115
済州道	345	265	175	35	38	1	1	15	80

(担当) 調査事業部

#### 配信先変更のご連絡等について

「JWR C水道ホットニュース」配信先の変更・追加・停止、その他ご意見、ご要望等がございましたら、会員様名、担当者様名、所属名、連絡先電話番号をご記入の上、下記までE-メールにてご連絡をお願いいたします。 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル2F (財) 水道技術研究センター ホットニュース担当 E-MAI $\emptyset$ : jwrchot $\emptyset$ jwrc-net. or. jp

TE $\ell$  03-3597-0214 FAX 03-3597-0215 また、ご連絡いただいた個人情報は、当センターからのお知らせの配信業務以外には一切使用いたしません。

#### 水道ホットニュースのバックナンバーについて

水道ホットニュースのバックナンバー (第58号以降) は、下記アドレスでご覧になれます。

http://www.jwrc-net.or.jp/hotnews/hotnews-h22.html